

CASBEE® 広島

(2010年ver.1)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE広島 2009年版

■ベース評価ソフト: CASBEE-Ncb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	広島共立病院新築工事	階数	地上6F
建設地	広島市安佐南区中須二丁目724-1	構造	RC造
用途地域	第1種住居地域	平均居住人員	1,052 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年7月 予定	評価の実施日	2014年7月15日
敷地面積	7,357 m ²	作成者	滝本洋司
建築面積	4,257 m ²	確認日	2014年7月15日
延床面積	14,386 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 大項目の評価(レーダーチャート)

2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.3

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 3.5	スコア = 2.3	スコア = 3.5
設計の計画上特段に配慮した事項 地域区分に即した断熱材の設置。複層ガラスを採用 / 高効率タイプの機器を採用 / 集中運用管理のため、集中リモコンを採用。中央監視により電力を管理 / 節水型衛生器具を採用。一部材料にリサイクル資材を採用。分別解体を容易とする工法を採用 / CO ₂ 排出量を極力抑制する	設計の計画上特段に配慮した事項 外構を極力緑化。室外機は屋根に設置 / 市条例に基づく駐車台数の確保。安川側からの進入路設置により、交通量の分散化	設計の計画上特段に配慮した事項 必要保有水平耐力に対する建物の保有水平耐力の比 : Qu/Qu _n > 1.25 / 階高のゆとりの確保と、PS、EPSの適正配置

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される